

# 希陽の空へ

2024年3月12日  
№86

三豊市立比地小学校

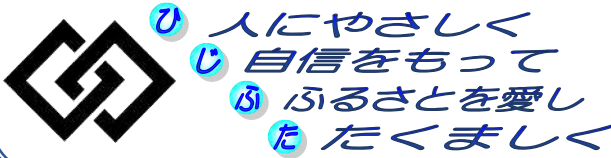
〒767-0004

三豊市高瀬町比地93番地

TEL 0875-72-5213

FAX 0875-56-2054

文責 長谷川 忍



学校のめあて

心豊かでたくましく

自ら学んで未来を創る

## 卒業式の練習

3月8日（金）の朝から、体育館に1～5年生の在校生が集まって卒業式の練習がスタートしました。卒業式まであと1週間となりましたが、在校生の集中力は素晴らしく短時間で動きを揃えることができました。15日（金）の卒業式で、6年生への感謝の気持ちを言葉や態度で直接伝えるための準備が着々とできています。



## 校長室で6年生と給食

3月1日～7日まで、卒業を目前にした6年生と、校長室で給食を食べました。出席番号順に4人ずつと一緒に、給食を食べながらいろいろなお話をしました。

歴代校長の写真を見て、学校の歴史を感じている人。大きな金庫を見て、その中に大金が入っているのではないかと思う人。（実は、金庫の中には大切な書類が入っていて、お金はほとんど入っていません。）給食が始まると、いろいろな話が飛び出しました。普段の給食では私語禁止ですが、この日だけはお喋りOKです。中学生になってやりたいこと、将来の夢、今だから言える恥ずかしかったこと、そして先生方や友だちとの思い出……。どのグループとも、楽しい時間を過ごすことができました。

## 卒業式について

15日（金）は、いよいよ卒業式です。「卒業式」の正式名称は、「卒業証書授与式」で、簡単な言葉に言いかえると、「卒業証書をわたす式」ということになります。ですから、卒業式の中で最も重要なことは、20名の卒業生が、一人一人ステージの演台の前で、卒業証書を受け取るということです。授与する（渡す）人は、校長です。校長は、学校では一番責任のある人なのですが、この日は、卒業生が一番責任のある人になります。それが証拠に、校長は、卒業証書を授与した後、卒業生が着席するのを見届けてからステージを去ります。卒業生は会場（体育館）に最後に登場してきて、最初に去っていきます。その次が来賓（お客様）です。ですから、6年生は、15日の卒業式の日だけは、校長や来賓よりも責任のある人（主役）となります。

そこで、卒業生のみなさんに一つだけお願いがあります。それは、「はい」の返事です。卒業証書授与という一番重要な場面で、返事に全力をつぎ込んでほしいと思います。「6年間で一番いい返事。全身で返事。持てる力を全部出し切って返事」を、お願いします。返事だけで、会場はすごい雰囲気になるはずですよ。お客様やお家の人の背筋が伸びるはずですよ。「そんなの無理?!」。大丈夫です。その気持ちがあればいいのです。本番の返事が、たとえどんな声になろうが、私は、皆さんの返事が、最高の返事だと思います。皆さんが、この気持ちをもって返事をしてくれたら、きっと涙があふれてくると思います。私からは、これだけをお願いします。

15日が、20名の皆さんにとって、最高の1日となりますように！心から願っています。